

こんにちは。さいとう石材です。

石だより



10

月14日は鉄道の日。一八七二年のこの日、新橋〜横浜間において日本で最初の鉄道が開通しました。それから150年もの間、鉄道は私たちの日常生活を支える一方、多くの人の心を魅了し続けています。

その理由の一つは、線路にあるのではないのでしょうか。広い空の下にどこまでも続く線

路は、そこに敷き詰められた石も含めて原風景となつています。この石はもちろん、見栄えのために敷いているわけではありません。

線路の石は「バラスト」と呼ばれ、枕木の固定をはじめ、様々な役割を果たしています。列車が通過する際は、地面への荷重を分散させるほか、枕木に伝わる振動を軽減し、騒音も吸収。線路の水はけをよくしたり、雑草が生えるのを防いだりする役割もあります。石と石の間にできる隙間がこうした効果をもちます。



小さな石の 大きな役割

バラストに使われるのは、花崗岩、安山岩、珪岩などの硬い石。かつては川の小石が使われましたが、現在は山から採取した岩を砕いて使用しています。尖った石のほう石の間に隙間ができるからです。現在はバ

ラストを用いず、鉄筋コンクリートの板にレールを固定するスラブ軌道も導入されていますが、そこでも消音のための小さなバラストが使われており、石が果たす役割の大きさを実感します。

生活の中で石が使われている場合は、重要な役割を担っています。見慣れた風景も意識して見てみると、新たな発見がありそうです。

石あるところに仕事あり。
周囲の石を見直してみれば。



裏面「写真に一言」をぜひお読みください

株式会社 齋藤石材



本社 Tel 0229-67-3036
加美郡加美町字中原 25-14
メール: isi@isi5.com

古川店 Tel 0229-28-3744
大崎市古川休塚目見田 1-3

ホームページへは、「齋藤石材 宮城」で検索または、右上QRコードでアクセス↑

石の神様 訪問記 ⑩ 大地蔵

(山梨県甲府市)

甲府駅の一つ隣、金手駅で降りると静かな住宅地といった風情。道すがら現れるぶどう畑を眺めつつ、迷いながら歩くこと約15分。坂道の途中で立ち止まって見上げると、木々の緑を背景に大きなお地藏様が鎮座していました。高さは5.6メートルで、近くからでは写真におさまりきれない大きさです。

大地蔵おおじぞうと呼ばれるこのお地藏様は、珍しいことに胴体は大きな自然石。石の表面は苔むしており、神々しさを感じさせます。

建立されたのは江戸時代の一七〇七年。自然石を胴体にしたお地藏様は、一六〇〇年代後半から一七〇〇年代の前半に流行し、甲府市内にはほかにも存在するそうです。「たんきりまっちゃん」という愛称をもつお地藏様もいると知り、訪ねたくなりました。

大地蔵の近くには、武田信玄が定めた「甲府五山」の一つの東光寺があります。境内には、絵馬のような形をした石に六地藏が彫られた「一石六地藏」がいくつもあり、大地蔵とうって変わってコンパクトな佇まい。本堂の後ろにある庭園は、地元産の石を多く使ったという石組みが見事で、山梨県の名勝に指定されています。収穫の多い旅となりました。

連載は今回が最終回。次号から新しい企画がスタートします！



迫力満点の大地蔵。優しげなお顔が彫られた頭の部分は比較的新しそうです。



東光寺の庭園。滝を登った鯉が竜に化身する様子を表現。



可愛い「一石六地藏」。

「七五三の千歳飴」～おめでた尽くしの飴で成長を祝う～

10月中旬～11月にかけて神社は七五三のお参りをする家族でにぎわいます。七五三は子どもの成長を祝う行事で、男の子は三歳と五歳、女の子は三歳と七歳に行います。かつて七歳は幼児期の最後とされ、この年のお祝いが重要視され、氏神様にお参りし社会の一員として認めてもらうことを意味していたそうです。

七五三に欠かせないのが千歳飴です。砂糖と水飴を煮詰めて、引っ張ってのばしてつくる細長い棒状の飴で、紅白の2本がセット。鶴や亀など縁起のよい絵柄の袋に入っています。江戸時代の中頃、浅草寺の境内で飴売りの七兵衛が売った「千歳(せんざい)飴」が始まりと言われています。飴の名前が長寿につながり、子どもの成長を祝う行事のお菓子として広まりました。

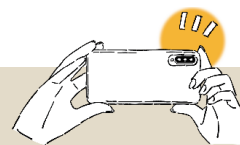


年中行事と食べもの

- 10月 9日 (月) …スポーツの日
10月 31日 (火) …ハロウィン
11月 3日 (金) …文化の日
11月 8日 (水) …立冬
11月 15日 (水) …七五三
11月 23日 (木) …勤労感謝の日

今月の予定

スタッフの「写真に一言」



秋のお彼岸前のお墓掃除の際、塔婆立てより見守られている気がしてパシャリ。そしてまだまだ秋の味覚、飯坂町にてとても大きい梨がごろごろと収穫を待っています。

(株)齋藤石材 齋藤久美子

定休日

加美町本社 : 10月第1・2土曜・日・祝日
11月第1・2土曜・日・祝日
大崎市古川店 : 毎週木曜日・その他不定休あり

(来店の際はお電話いただけると幸いです。)

石だより



さいとう石材 宮城県加美郡加美町字中原 25-14 TEL:0229-67-3036